

判断難しい「〇〇ハラ」調査結果公表

今回は、道徳的なことについて考えるきっかけとして、令和6年5月17日に厚生労働省によって公表された「職場のハラスメントに関する実態調査」の報告書に注目した。

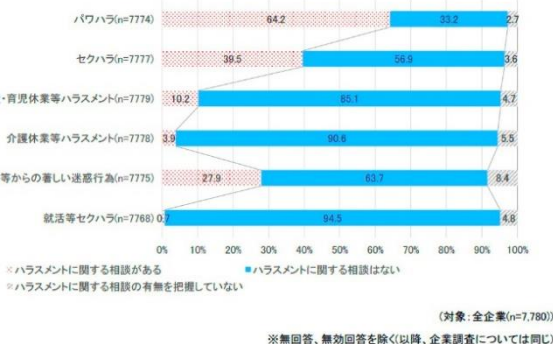
少女新聞

発行者
澁川女子高校
新聞委員会
(3-2)

発行日
R6年7月4日

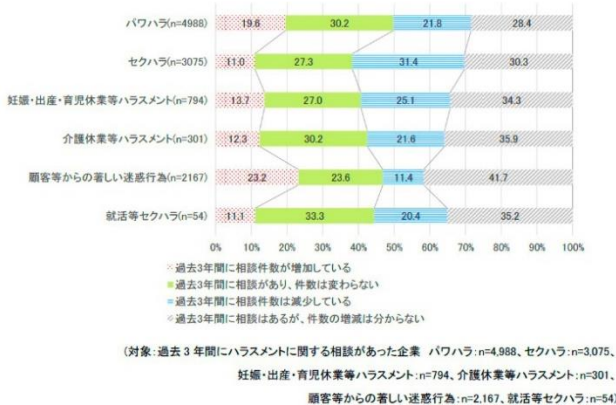
【令和5年度 厚生労働省委託事業『職場のハラスメントに関する実態調査報告書』(概要版)より】

図表4 過去3年間のハラスメントの相談有無(ハラスメントの種類別)



ハラスメントとは、人を困らせること、嫌がらせることを指す。過去3年間に各ハラスメントの相談があったと回答した企業の割合をみると、高い順にパワハラ、セクハラ、顧客等からの著しい迷惑行為、妊娠・出産・育児休業等ハラスメント、介護休業等ハラスメント、就労等セクハラであった。また、各ハラスメントの相談件数の推移を見ると、セクハラ以外では「件数は変わらない」の割合が最も高く、セクハラのみ「減少している」が最も高くなってた(「件数の増減はわからない」を除く)。顧客等か

図表5 過去3年間に相談があった企業における相談件数の推移(ハラスメントの種類別)



パワハラ防止法が二〇二〇年に施行され、ハラスメント対策が急務になってきている。セクハラ、パワハラを代表とする「ハラスメント」だが、最近はその以外のハラスメントも顕著になり、その種類も年々増加してきている。

多様化する

らの著しい迷惑行為のみ「件数が増加している」の割合が「件数は減少している」を上回っていた。(図表5) 逆に「件数が減少している」の割合が「増加している」を上回っていた。

ハラズメン



これが、ハラスメントです。
通称マルハラ (マルハラズメント) (問) 上のやりとりのどかがハラズメントだと思いますか？

コミュニケーションアプリ等で、句読点が付いた文章にストレスを感じることは、この場合は、自分が送ったメッセージと相手からの返信にテンションの差を感じ、相手のメッセージを威圧的だととらえたものかもしれません。

終わりに

行動や発言に対して、何でも「ハラスメント」と付けることができてしまう今の社会。他者を尊重し、その価値観を理解しようという考えが広まってきたからこそ、些細な言動に過剰に反応してしまうのだろうか。

変化の目紛しいこの社会で、「しなやかに」生きていくためには、主観的な考えから一歩離れたところから、ものごとを捉え、また、必要に応じて、得た情報を発信する選択肢をもつことも大切だと考える。

お菓子ハラズメント (通称オカハラ)とは、特定の人だけにお菓子やお土産を配らず、不快な思いをさせてしまうことである。旅行に行ったときに会社へのお土産購入を強要することも、お菓子ハラズメントにあたる。

また、他のハラズメントの例として、パタニティハラズメント(パタハラ)やコミュニケーションハラズメント(コミュハラ)など、数えきれないほどのハラズメントが存在する。

現在の社会状況を把握するうえで、これらについて調べてみるのも良いかも知れない。